

# ふえーぬ風

発行 〒901-1105  
 沖縄県南部農業改良普及センター  
 南風原町字山川517  
 TEL:(098)-889-3515  
 FAX:(098)-835-6010



## おきなわ花と食のフェスティバル2023開催 ～果樹・花き・野菜 各品評会結果～

おきなわ花と食のフェスティバル～ていだサンサン 食べたらがんじゅう 沖縄産！～が約4年ぶりに観客を動員して開催されました。同時に果樹・花き・野菜の各品評会が開催され、大会を盛り上げました。南部地区からも多くの出品があり、その結果については下記の通りです。

受賞された皆様、おめでとうございます！

(園芸技術普及班 座波)

第35回花き品評会賞名	受賞者	品目名	市町村
沖縄総合事務局賞	島袋幸光	ストレリチア	南風原町
九州花き卸売市場連合会長賞	金城健太	トルコギキョウ	那覇市
沖縄県農業共済組合組合長理事賞	具志弘明	観葉植物	糸満市
金賞	伊敷典夫	小ギク	糸満市
	金城綾乃	ストレリチア	南風原町
	城間京子	ストレリチア	南風原町
銀賞	玉城哲弘	小ギク	糸満市
	金城良美	小ギク	那覇市
	新垣淳	ストレリチア	南風原町
	山城弘美	トルコギキョウ	糸満市
	金城政則	トルコギキョウ	那覇市
	大城一義	ラン	南風原町
	石川美枝	葉物	八重瀬町
銅賞	島袋大輝	大ギク	久米島町
	玉城和季	小ギク	糸満市
	玉城肇	小ギク	糸満市
	伊敷克也	小ギク	糸満市
	兼城由紀乃	小ギク	八重瀬町
	安慶名サユリ	小ギク	南城市
	金城君子	小ギク	那覇市
	安里正明	ストレリチア	南風原町
	島袋幸光	ストレリチア	南風原町
	金城盛幸	ストレリチア	南風原町
	新垣恵子	ストレリチア	南風原町
	金城親	ストレリチア	南風原町
	金城道子	トルコギキョウ	那覇市
	徳本克喜	トルコギキョウ	糸満市
	新垣泰男	観葉植物	南城市

第19回果樹品評会賞名	受賞者	品目名	市町村
銅賞	城間正守	アテモヤ	南城市
	赤嶺之昭	スターフルーツ	南風原町
	宮城光雄	パッションフルーツ	南風原町

第30回野菜品評会賞名	受賞者	品目名	市町村
農林水産大臣賞	李淑玲	大型ピーマン	那覇市
農林水産省生産局長賞	長嶺直	トマト	豊見城市
沖縄県知事賞	親泊元哉	さやいんげん(関東)	八重瀬町
沖縄総合事務局賞	當間博之	きゅうり	八重瀬町
沖縄総合事務局農林水産部長賞	赤嶺敏夫	ミニトマト	豊見城市
沖縄県農林水産部長賞	諸見謝腫	中型ピーマン	八重瀬町
沖縄県市長会長賞	前川守也	へちま	南城市
沖縄県農業協同組合代表理事理事長賞	銘苺春苗	さやいんげん(大型平さや)	南城市
沖縄協同青果株式会社社長賞	与儀実将	ちんげんさい	那覇市
銀賞	當間榮吉	きゅうり	八重瀬町
	大城靖	ハーブ類(バジル)	豊見城市
	瀬長輝男	トマト	豊見城市
	諸見里安雄	さやいんげん(関東)	糸満市
	新垣直也	ミニトマト	南城市
	有銘恵子	キャベツ	那覇市
	大城豊治	へちま	南城市
	伊森正秀	大型ピーマン	八重瀬町
	東江泰彦	大型ピーマン	八重瀬町
	東江一春	中型ピーマン	八重瀬町
	平仲健	さやいんげん(関東)	八重瀬町
	普天間豊	さやいんげん(関西)	南城市
	新垣佐恵子	ゴーヤー	糸満市
	大城敏寿	トマト	豊見城市
	大城盛助	トマト	豊見城市
銅賞	大城司	ハーブ類(バジル)	那覇市
	赤嶺孝則	中長ナス	那覇市
	城間悠司	きゅうり	南風原町
	マイル・ホク	にんじん	糸満市
	大城清輝	白菜(結球)	糸満市
	金城敏	レタス	糸満市
	大城盛行	オクラ	南城市
	比嘉拓也	へちま	南城市
	前津成記	ちんげんさい	南風原町
	島克行	大型ピーマン	八重瀬町
	金城ゆかり	中型ピーマン	八重瀬町
	新城安正	さやいんげん(関東)	八重瀬町
	安里美津男	かんしょ	八重瀬町
	金城薫	ミニトマト	糸満市

# 具志頭ピーマンのブランド化に取り組む地域農業振興総合指導事業スタート

普及センターでは令和4年度より八重瀬町具志頭において、ピーマンのブランド化と次世代リーダーの育成を目的として地域農業振興総合指導事業を実施しています。具体的には「安全・安心でめざせトリプル3！」(トリプル3は、単収・単価30%UPと化学肥料・化学合成農薬の3割減の達成を意味する)を取組のスローガンとし、「グリーンな栽培体系」や「スマート農業」、「産地活動PR」の3つのワーキングチームを設置し、産地で一丸となって取り組んでいます。(普及企画班：崎間)

スローガン

## 安全・安心でめざせトリプル3！

～単収・単価30%UPと化学肥料・化学合成農薬の3割減～

### 地農指事業3つのワーキングチーム

関係機関が連携して事業推進会議や意見交換会、研修会や展示ほの設置など行い、ワーキングチームにて若手農家等の参画を進めていく。

### 事業推進会議

### 総合指導チーム



令和4年度第1回事業推進会議

単収30%UP  
スマート農業

化学肥料、  
化学合成農薬  
の3割減  
グリーンな栽培体系

単価30%UP  
産地活動PR

ピーマンハウスの環境モニタリングデータを活用し、環境条件の調整により品質や単収の向上、自動開閉装置の活用により省力化など期待されている。



ピーマンハウス内の環境モニタリング機器の設定



自動開閉装置の設定

環境制御に関する勉強会



環境データの活用検討

減農薬・減化学肥料の削減について技術的な向上を図りつつ、栽培に関するアンケート調査等により、具志頭ピーマン栽培の特徴を明確化する。



天敵利用や太陽熱土壌消毒について勉強会や現地検討会の実施

コスト低減を期待した自家製液肥の施肥効果について展示ほの設置



問7(3) 防除について、太陽熱土壌消毒、天敵の利用

具志頭ピーマン(大型ピーマン)栽培に関するアンケート調査(令和4年度)

#### ※調査結果

- 1) 調査の目的  
具志頭ピーマン(大型ピーマン)の栽培における技術や行政、農家の意向を明確にし、「ピーマンのブランド化」などの取組の基盤に役立てる。
  - 2) 調査実施  
令和4年10月
  - 3) 調査対象の条件及び調査数  
JAおきなわ具志頭支店 大型ピーマン栽培部員65名(14)
  - 4) 調査の実施方法  
大型ピーマン(共通部員)の販路会議にて、参加者に配布、回収した。
- b) 回答者数(回収率) 回答数47(11.2%)



具志頭ピーマン栽培に関するアンケート調査の実施と報告

具志頭ピーマン(大型ピーマン)のブランド化や認知度を上げるための販促やPR活動を行い、差別化販売、単価アップに繋げる取組。



産地活動PRワーキングチームにてPR方法の検討

INPITの宮川氏による知財に関する勉強会



大型ピーマンの特徴を活かしたレシピ検討

具志頭ピーマンのPR資料作成



ホテルへの食材提供

# 天敵を使った野菜の害虫防除について

## ～南部地区での現状～

南部地区では、ピーマン・ナスを中心に天敵を使った害虫防除に取り組んでおり、ピーマン、ナスでは天敵の利用が普通の防除のように定着しています。グラフ1で示したように、過去5年間で南部地区の天敵の利用状況は急激に増加しています。

増加した要因としては、使いやすい天敵の種類が増えたこと、天敵を入れるまでの農薬の影響がわかってきたこと等が上げられます。(園芸技術普及班 野菜担当(座波))

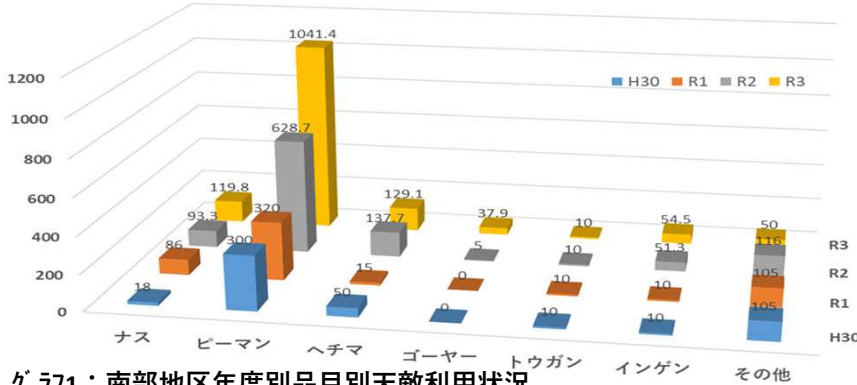


表1: 南部地区天敵利用農家数と面積

	平成30年	令和3年
天敵戸数	33戸	58戸
天敵面積a	483a	1,042a

グラフ1: 南部地区年度別品目別天敵利用状況

### スワルスキーカブリダニ

購入



ホコリダニ、コナジラミ  
アザミウマ類  
※花粉も餌になる!

### タバコカスミカメ

収集



アザミウマ類、コナジラミ  
夏に自分で集める(ゴマ等と呼ぶ)  
ハウスにゴマ・クレオメを植えて増殖。

現在、基本的に使用されている天敵は、購入する「スワルスキーカブリダニ」(写真左)と自分で集める「タバコカスミカメ」(写真右)2種類での防除が基本となっています。

左は、上の2種類以外で使われている天敵です。ハモグリバエ類の天敵「ハモグリミドリヒメコバチ」、アザミウマ類の天敵「タイリクヒメハナカメムシ」、コナジラミ類の天敵「オンシツツヤコバチ」等使用されています。上記2種の補助的に使う場面が多いです。天敵の種類は、まだまだ多くあります。



## 天敵防除を成功させるためには・・・

- ①どの害虫が発生しているか? →自分の畑をよく観察する。
- ②天敵に長い期間影響する農薬は使わない。
- ③天敵を使う前に、害虫をゼロにする。
- ④天敵放飼後は、農薬散布はもちろん、葉面散布もしばらく我慢する。
- ⑤他の害虫や病気が発生したら、できるだけ天敵に影響ない薬剤を使用する。
- ⑥天敵や害虫などの発生を観察する。
- ⑦1度失敗しても諦めず、失敗したことを改善して、次回に活かす。

J A ・農薬メーカーと連携して、講習会を開催しています。積極的に情報を集めることが成功の近道です。

## トルコギキョウの病害について

## 灰色かび病の発生に注意しましょう！！



## 【発生】

・20℃前後の気温で発生しやすく、多湿条件のときに多発する。

朝夕の急激な冷え込みは本病の発生を著しく助長する。このような時に、病斑上に大量の胞子が形成され、これが飛散し風媒感染する。

## 【特徴】

・発病が進むと、地際部などに灰色～淡褐色の粉状のカビが発生する。  
・茎、葉、蕾、花に発病し、開花期の花弁に発病すると、花シミの原因となってしまう。

## 【対策】

・ハウス内が多湿にならないように換気を行う。  
・発病株については、抜き取り処分する。  
・登録農薬を散布する。

- |               |        |       |
|---------------|--------|-------|
| ・アフェットフロアブル   | 2,000倍 | 予防+治療 |
| ・セイビアーフロアブル20 | 1,000倍 | 予防    |
| ・ファンタジスタ顆粒水和剤 | 3,000倍 | 予防+治療 |
| ※高温時は薬害恐れあり   |        |       |

等

## 斑点病の発生に注意しましょう！！



## 【発生】

・発生初期は、葉の表に5～10mm程度の退緑斑を生じ、後に葉の表裏に黒から灰色のすす状病斑が形成される。病斑は下位葉を中心に発生し、その後、上位葉へ進展する。

・本病は、多湿条件下で発生し、風媒感染する。

## 【特徴】

・本病は、感染してから病斑が現れるまでの潜伏期間が長いので、初期の病害に気づくことは難しい。  
・高温、乾燥条件では、発病が抑制されるが、菌は死滅しているわけではなく、好適な条件になると再度発病する。

## 【対策】

・ハウス内が多湿にならないように換気を行う。  
・発病した葉は取り除いて処分する。  
・登録農薬を散布する。

- |               |        |       |
|---------------|--------|-------|
| ・アミスター20フロアブル | 2,000倍 | 予防+治療 |
| ・ダコニール1000    | 1,000倍 | 予防    |
| ・ポリオキシシンAL水溶剤 | 2,500倍 | 予防+治療 |

等

(園芸技術普及班 知念)

## 今こそ寒地型牧草栽培に挑戦！

エンバク（オーツ）・イタリアンは沖縄県でも栽培可能！

沖縄県で永年利用される暖地型牧草は冬期に生産性が低下するため、冬場の粗飼料確保が課題となっています。また、輸入飼料の価格高騰もあり、粗飼料自給率を向上させる必要があります。そこで、寒地型牧草(**イタリアン・エンバク**等)を栽培し、冬場の粗飼料確保を目指しましょう。

**播種時期 10月下旬～11月**

種子代金 (R4年時点)

- ・イタリアン 8,362円/300坪
- ・エンバク 6,270円/300坪

期待生草収量 3～4トン/300坪

※※※栽培時の留意点※※※

- ・冠さび病への抵抗性品種を選択する。

例) イタリアン：**さちあおば**

エンバク：**韋駄天**

- ・播種後の鎮圧により、発芽率を高めることができます。



R5年2月8日 糸満市名城にて撮影



～播種時期について～

- ・播種は、気温が下がり始める11月に行うと良いです。
- ・1月に刈取りしたい場合は10月に播種することになりますが、まだ気温が高く、生育が良くない可能性があります。

・播種方法

①既存のローズグラス等の暖地型牧草の刈取り後にエンバク・イタリアンを播種

②草地更新後にローズグラスとイタリアン・エンバクを混播する方法

①②がありますが、収量がより多いのは草地更新後に播種する方法です。

～南部 かんしょ情報～

令和4年度「いもの日」講演会—in八重瀬—

八重瀬町では11年ぶりの開催！

去る11月16日（いもの日）に、沖縄県かんしょ生産振興協議会主催の『「いもの日」講演会—in八重瀬—』が開催されました！

新型コロナウイルスの感染拡大により、3年ぶりの開催となった「いもの日」講演会には、八重瀬町のかんしょ生産者をはじめ、本島・離島からも多くの関係者が参加しました。



八重瀬町長の開会のあいさつからスタートした講演会では、JA具志頭支店いも生産部会の安里部会長による部会の取り組み報告をはじめ、農研センター 山岸研究員や農業法人（株）じんぐらファーム 屋宜氏による病害虫防除、健全苗育成技術について講演が行われました。

各産地協議会からの報告では、平成30年に発生したサツマイモ基腐病や新型コロナの影響による生産量、生産者の減少等、現場の厳しい状況が報告されています。そんな中、基腐病の防除技術が検討され、加工用かんしょの需要が回復傾向にあることから、今後のかんしょ業界の復活を願い、最後は参加者全員のガンバロー三唱で締め括りました！

（地域特産班：久保田）

サツマイモ基腐病防除対策—**苗消毒**—

基腐病『防除の基本』

持ち込まない

・健全苗を使用しましょう！



増やさない

・発病株を見つけたら**抜き取り処分**しましょう！  
・有効な殺菌剤の散布を行きましょう！

残さない

・残さを残さないようにしましょう！



～これから春植えの植付けが始まります～

健全苗を植付けするために・・・

- ・病気に感染していない苗を選んで植付けをしましょう。
- ・植付け前の**苗消毒**も**必ず**行いましょう。

【苗消毒に使用できる農薬—基腐病防除編—】

※登録状況は2023年2月16日時点。

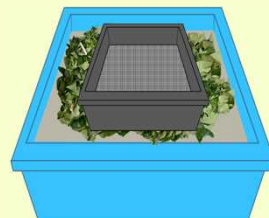
農薬名	使用方法	回数・時期
ベンレート水和剤	500～1,000倍液、30分間 <b>苗浸漬</b>	1回・植付前
ベンレートT水和剤	200倍液、30分間 <b>苗浸漬</b>	1回・植付前
トリフミン水和剤	500倍液、 <b>17時間苗基部</b> 浸漬	1回・植付前

※使用の際はラベルの使用基準を確認してください。

【苗浸漬のポイント】

- ・葉も含め、苗全体がしっかり浸かるようにするとより効果的です。
- ・浸漬中、**軽く揺す**ると隙間までしっかり薬液を行き渡らせることができます。
- ・浸漬中、**苗が浮いてこないよう**、**トレーを乗せる**などすると良いでしょう。

(例)



(地域特産班：久保田)

# 離島情報 (久米島町)

## 1. かんしょ

久米島町では、平成24年度にアリモドキゾウムシ根絶後、平成26年度には沖縄県の拠点産地として認定され、面積、生産量ともに順調に増加してきた。

しかし、令和元年度に「サツマイモ基腐病」が発生し、生産量が激減。苦しい状況が続く一方で、研究機関における防除技術の開発が進んできたことや、各種対策の効果が発現し始めていること等により、生産量は回復傾向にあり、生産拡大に向けて意気込む声も聞かれる。

表1. 直近5カ年のかんしょ実績

年度	生産量 (kg)	生産額 (千円)
H29年度	729	98,388
H30年度	965	130,242
R元年度	463	63,362
R2年度	305	41,709
R3年度	371	55,650

引用：「令和4年度 産業の概況」(令和4年、久米島町)



写真：植付前の土壌消毒  
(実施農家「動噴なので容易」)



写真：苗消毒  
(実施農家「絶対不可欠!」)



写真：茎葉の消毒  
(実施農家「防除効果ある」)

## 2. さとうきび

令和3/4年期のさとうきび実績は、表2とおりであった。

令和3年度は、大きな気象災害を受けず、また、生産者の経営努力や島内関係機関の積極的な取組、各種補助事業の活用もあって、前年を上回る実績となった。

令和4年度も前年を上回る生産量が見込まれている。

しかし、令和4年11月にメイチュウ類に関する病害虫発生予察注意報が発令されており、薬剤による適期防除に加え、ほ場周辺も含めた雑草防除の徹底も重要である。

引き続き、地域一体となった取組を継続し、さらなる生産性向上へつなげる必要がある。

表2. さとうきびR3/4年期製糖実績

	収穫面積 (ha)	生産量 (t)	単収 (t/10a)
夏植	131	9,122	6.96
春植	112	5,980	5.35
株出	667	35,471	5.32
合計	910	50,573	5.56

引用：「令和4年度 産業の概況」(令和4年、久米島町)



写真：さとうきびほ場の土壌分析  
(島内関係機関で連携して実施)



(久米島駐在 平田)

# はじまります インボイス制度 ～しっかり検討・判断しましょう～

令和5年10月1日からインボイス制度が始まります。  
特に現在（消費税）免税事業者の農家さんはご自身の事業実態に合わせ、インボイス発行事業者の登録を受けるかどうか、まずはしっかり検討しましょう。

## インボイス制度、適格請求書ってなに？



インボイス制度（適格請求書等保存方式）とは  
消費税の複数税率に対応したものとして開始される、仕入税額控除の方式です。

- 買手は、収入税額控除を受けるためには、帳簿のほか、売手から交付を受けた「適格請求書」\*等の保存が必要になります。
- 売手は、適格請求書（インボイス）を交付するためには、事前に発行事業者の登録を受ける必要があり、登録を受けると、課税事業者として消費税の申告が必要となります。

\*適格請求書とは

「売手が、買手に対し正確な適用税率や消費税等を伝えるための手段」  
登録番号のほか、税率ごとに区分した消費税額（適用税率）等、一定の事項が記載された請求書や納品書、領収書等これらに類するものをいいます。  
電磁的記録（電子データ）での提供も可能です。



### Point 1

農家さんは買手（肥料や農薬等資材の購入）と売手（農産物の販売）両方の立場での取引があります。取引先に応じて対応を検討しましょう。

### Point 2

農協（JAおきなわ、太陽の花等）の組合員であり農協への無条件委託・共同計算での販売や、卸売市場（沖縄協同青果、くみあい生花等）への委託販売はそれぞれ農協特例、卸売市場特例が適用され、各農家さんのインボイス発行は必要ありません。  
ただし、家畜市場、製糖工場への出荷・販売は特例に該当しませんので注意が必要です。

### Point 3

取引先が免税事業者や簡易課税制度を選択している場合、また消費者への直売に限定される場合はインボイス発行事業者にならなくても問題ありません。

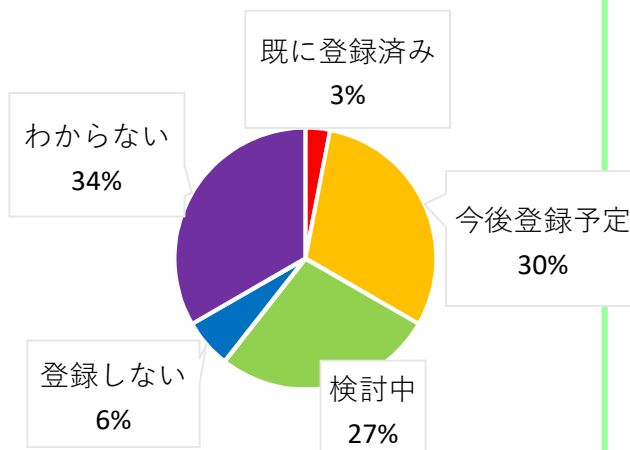
### Point 4

制度はまだ開始前であり経過措置期間もあるため、正しい制度内容の理解と取引先への情報確認を行い、登録についてはご自身でしっかり判断しましょう。

なお、登録を受ける場合は交付書類の見直しや書類の保存・管理方法等、売手・買手としての事前準備を行きましょう。

## まだまだ登録検討・準備中

インボイス発行事業者の登録  
についての意向調査結果



調査日：令和4年8月～令和5年1月  
対象者：南部地域の農家さん33名  
(課税事業者14、免税事業者17、不明2)  
\*各調査日時点の結果

参考「インボイス制度特設サイト」：制度の概要や各種資料、説明動画の掲載  
「インボイス制度への対応に係る補助金」

- ✓ IT導入補助金：会計ソフトや受発注システム等の導入に対する補助金
- ✓ 小規模事業者持続化補助金：免税事業者が適格請求書発行事業者の登録を受ける場合の環境変化への対応を支援するためインボイス枠が設けられています。

詳しくは各ホームページ、チラシ等ご確認下さい。

引用資料等：適格請求書等保存方式の概要、インボイス制度が始まります（国税庁）

（普及企画班 安藤）

